

木津川市建設部建設課 御中

木津町区における新反田川逆流防止ゲートの適正運用に関する要望書

盛夏の候、貴課におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、当地区の防災行政にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

過去の 2013 年台風 18 号、2017 年台風 21 号においては、新反田川から旧反田川および農業用水路への逆流が発生し、木津町区の低地帯住宅地において浸水被害が発生いたしました。その後、逆流防止ゲートの設置や、本流の小川への排水ポンプ増設(計 440t/m)といった対策を講じていただき、当地区の内水氾濫リスクは大きく軽減されたものと深く感謝しております。

しかしながら、本年 6 月 26 日の大雨(最大時間雨量:50mm、累加雨量:161mm)の際、この地域で耕作されている田圃において冠水状態となり、また低地帯住宅前の道路が一時溢水する事態となりました。

当時、新反田川・農水路ゲートを確認したところ、逆流防止ゲートが閉鎖されておらず、新反田川から農業用水路へ水が逆流していたことが確認されております。

被害を防止するための設備が設置されているにもかかわらず、それが稼働しなかったことについて、地域住民からは適正な運用がなされているのか強い懸念と疑問の声が上がっております。

今回は短時間豪雨であったため大事には至りませんでした。今後の大雨や線状降水帯の発生を考慮すると、地域住民の不安は非常に大きいものがあります。

当低地帯エリアは他からの雨水流入が少ない閉じられた地形であるため、新反田川からの逆流を確実に防止することが、浸水被害を防ぐ上で極めて有効な対策となります。

つきましては、地域の安心・安全のため、以下の通り要望いたします。

【要望事項】

1. 6 月 26 日の大雨の際、逆流防止ゲートが閉鎖されなかった経緯および判断基準のご説明
2. 台風や線状降水帯等による大雨・逆流発生時において、即座にゲートを閉鎖できるような適正な運用ルールの見直し・確立

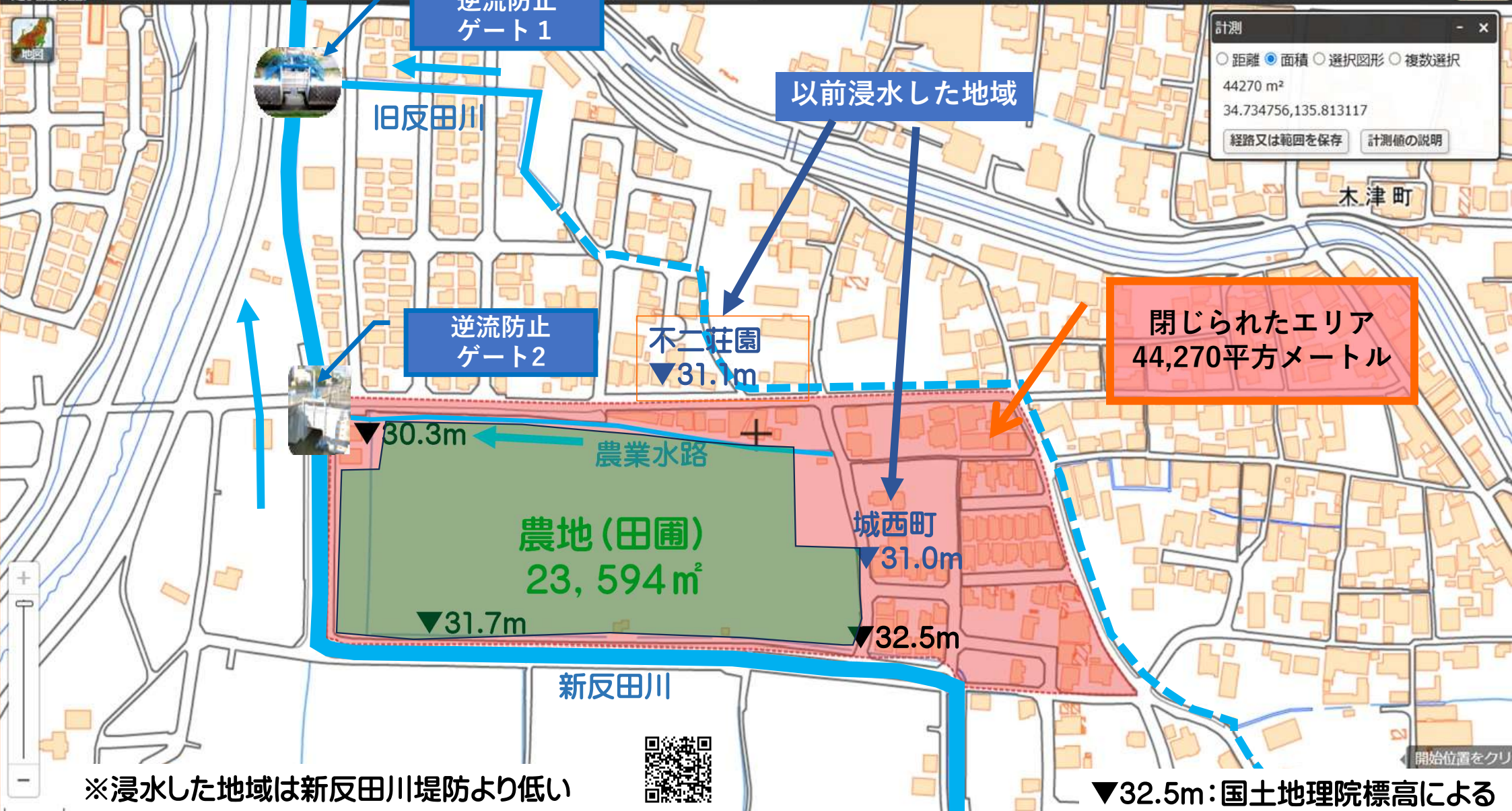
いつ起こるかもわからない災害から被害を極力無くす観点から、可能な限り早く、遅くとも 8 月 21 日までに書面にてご回答をいただけますようお願い申し上げます。

もし期限に間に合わない場合は、その旨を事前に一度ご連絡ください

なお、今後のゲート運用につきましては、貴部、貴課と、木津町区自主防災会、農業関係者、低地帯住民、地域防災リーダーとの話し合いの場を設けていただければ幸甚に存じます。

2026 年 7 月 20 日

木津町区自主防災会会長 西 洋祐
木津町区地域防災リーダー 駒井 幸夫



計測

☐ 距離 ☒ 面積 ☐ 選択図形 ☐ 複数選択

44270 m²

34.734756, 135.813117

経路又は範囲を保存 計測値の説明

※浸水した地域は新反田川堤防より低い

▼32.5m: 国土地理院標高による